

3学年 学年だよ!

青空学年

～成長の記録・最終章～

発足 1033 日目 (卒業まで、あと 37 日)

◀残り登校回数、あと 26 回▶



ふわリン

第 132 号 2022.1.31

文責 佐藤敏之

学年目標

飛

～素直な心でお互いに尊重し合い、小さな翼を
立派に成長させて未来へ翔けだそう～

◀修学旅行 目標▶

Ultimate School Trip

～究極の修学旅行～

- 一、団結をして仲を深める
- 一、伝統文化を学び、思い出に残す
- 一、コロナに負けるな!健康第一!
- 一、ルールを守って、安全に気をつける
- 一、パッと臨機応変に行動、ピースを大事に

～hugくみ～

午前日課スタート



学年末テストも終わり、本日より午前日課が始まりました。すでにお伝えさせていただいた通り、今回の午前日課は、新型コロナウイルスの感染を防ぐことを目的としています。東中学校および青空学年職員一同の思いは、可能な限り生徒全員が当初予定通りの日程で受検に臨めるようにすることであり、今回の日課変更はそのための特別措置です。生徒たちには、その目的をしっかりと理解し、不要不急の外出を避けるのはもちろんのこと、午前中の学校生活や午後の自宅等での感染予防対策も充分に行いながら、受検(験)勉強の最後のがんばりを行ってほしいと思います。

生徒が帰った午後の時間、クラスごとにオンライン授業を通して学習のサポートを行う他、進路に関する手続きや様々な不安に対する相談・支援など、個別対応を行ってまいりますので、生徒はもちろん保護者の方々も、何かあれば3学年職員に申し出てください。また、オンライン授業と並行して不要不急の外出を防ぐために地域の見回りも行っています。そんな中、商業施設や公園などで生徒たちの姿を目にすることがないようにご家庭においてもご指導いただければと思います。

心と体を整える

ここから大切になってくるのは、学習の取り組みはもちろんですが、それと同じくらい大切なのが「心と体を整えていく」ことです。受検(験)の試験日は移動も含めれば早朝から動き出すこととなり、公立私立合わせてもほぼ全ての学校で遅くとも9時台には1科目の試験が始まります。そこで最善を尽くすためには、試験当日の朝、すっきりと目覚め、きちんと食事や持ち物等の準備をし、時間に余裕をもって自宅を出て、心を落ち着けて試験会場の自分の席に着くことが大切です。午前中から昼過ぎまでの時間にしっかり頭が働く状態になっていることも大切です。試験当日にそうなっているためには、前日や当日だけ規則正しく過ごそうとするのではなく、少なくとも2週間くらい前(まさに今です)から同じようなリズムで生活していくことが望ましいです。ですので、今、試験勉強のために夜型の生活になっている(深夜にかけて起きてしまっている)生徒には、今週あたりから生活リズムを改善し、「心と体を整えていく」ことをおすすめします。15～20分程度の昼寝がその後の作業効率を格段に上げるという説もありますので、帰宅後に昼食をとってから少し昼寝をして、14時頃に起きるというのも人によっては午後の学習にプラスの効果があるかもしれません。

また、「心を整える」という意味では、リフレッシュの時間を持つことも大切です。そういった時間を青空学年の生徒たちが確保するためにも、本日から午前日課の時間割の中には、保健体育や美術などの技能教科の授業をどのクラスも適度に組み入れています。受検(験)直前ですので、5教科の授業では試験対策が中心となっていきますが、そんな中でも学習に集中する時間とリフレッシュできる時間をバランス良く持ちながら過ごしていただきたいと思います。

(裏面に記載あり)

「みんな」の「安全・安心」を守り、創り出すために

3学期に入り、携帯電話の取り扱いについての指導を学年として行いました。一部生徒による登下校時の携帯電話使用が見られるとの情報が地域からあり、学年全体への事実確認を目的としたアンケートを実施しました。そしてそれをもとに個別指導を行い、先週金曜日の帰学活で各クラスにて担任から今後に向けての話をしました。また、アンケートでは「今回の件についてどう思ったか」や「今後学年としてどうなっていきたいか」などの意見も書いてもらいましたが、多くの生徒が真剣に今回のことを捉え、今後についても前向きな気持ちを持ってきていました。

「ルールを守る」ということには、とても大切な意味があります。「ルールを守る」ということは「みんなの安全・安心を守る」ということでもあり、つきつめて言えば「命を守る」ことにつながります。大げさに聞こえるかもしれませんが、これは紛れもない真実です。

何が良くて何が良くないか、何を快く感じて何を不快に感じるか、それは人それぞれです。人には特有の人格があり価値観があるので当然のことです。そういった個性を互いに尊重しあいながらも、一方でどこかに共通の線を引かなければ「みんなの安全」は生み出せません。理想を言えば、その共通の線は一人一人の思いやりや歩み寄りによって生まれることが望ましいです。しかし、それが現実として難しい状況の中では「法律」「校則」などといったルールを設ける必要があります。いったんルールの線がどこかに引かれると、その基準が自分の感覚にぴったり来る人、そうでない人が出てきます。そんなズレを埋めるために大切なことは「みんなが少しずつがまんをすること」です。その「少しずつのがまん」が集団や社会の「安全・安心」を生み出すのです。ところがここで、「自分はそんなルール守らなくてもいいや」という開き直りが出てくると、この「安全・安心」が保たれなくなってしまうかもしれません。開き直りという感覚は、徐々に大きなものになっていく傾向があります。そういった感覚で社会に出ていってしまうと、つい最近あった事件のように「自分はここで喫煙したいからする」「目の前の相手が気に入らないから殴る」などといった利己的な行動につながってしまう恐れがあります。そうすると、社会の中で「安心・安全」な生活が保たれなくなってしまうのです。それはあってはならないし、青空学年の生徒たちにそんな大人にはなってほしくありません。

また、社会や集団の「安心・安全」を保つために必要なことが、実はもう一つあります。それは「つながり」です。ルールを守らない人がいた時に、その人が悪いと言って片付けてしまうことは簡単ですが、それでは本質的なことは何も解決していきません。自分が所属する集団や社会で起きていることに対して、他人事にならず、自分事として考える。「なぜ、こういったことが起こるのだろう」「どうしたら、この状況を改善していけるのだろう」と。そういったことを「みんなで考える」という過程を踏むことで、そこに「つながり」が生まれ、温かな空間が生まれていきます。そしてそこに居心地の良さを感じるようになった時、「自分はこの集団の一員なんだ」という所属意識が芽生え、さらに「安心・安全」が保たれやすい環境となります。

自分が置かれた環境で決められたルールをまずは守りながら、その意味を考え行動していく。そして必要があれば改善の形を考え、必要に応じて提案や話し合いを行い、自分たちの生活をより良くしようと努める。願わくは、そういった大人になってほしいです。

ただ、私がこんなことを語る以前に、この文章の最初で述べた通り、今回の件についても、この学年の今後についても、真剣に前向きに捉えてくれている生徒は既にたくさんいます。そういった一人一人のかけがえのない思いを、残された時間の中で少しずつ「みんな」の思いに変えていき、3月9日（水）に「みんな」で笑顔で卒業していただけたらと願っています。

今後の予定

(今週)

日	曜	行事等
31	月	④帰学活込み 午前日課
2/1	火	45分授業 公立受検票配付
2	水	45分授業
3	木	④帰学活込み
4	金	④帰学活込み 公立志願変更 ↓

(来週)

日	曜	行事等
7	月	45分授業 公立志願変更 午前日課
8	火	④帰り学活込み 公立志願変更(午前)
9	水	45分授業 私立一般試験前日指導
10	木	私立一般受験試験(該当生徒以外は朝学活のみ) ↓
11	金	建国記念の日

